

グリーンインフラ×スマートシティ 自然共生型スマートシティモデル事業（守谷市）

グリーンインフラを活用したまちづくりとスマートシティ化を推進し、豊かな自然と共生した美しい持続可能な未来都市へ、市民協働で進化させる。

取組概要 先進的技術の導入により、グリーン&スマートの自然共生型スマートシティの実現により課題解決を目指す。

課題	グリーン&スマートでめざす課題解決	解決策：先進的技術を導入した取り組み
①住民の高齢化 早くに整備された地区は、高齢化が進みつつある。今後の深刻化が懸念。	自然の中での活動を促進し、コミュニケーションを通じた心身の健康 (well-being)	ウォーカブルシティ・ヘルスプロモーションを推進する市民参加型GIプラットフォーム 市民参加型のグリーンインフラGIS ・見頃な散策路や花などのコミュニケーション ・市民参加型のイベント型街路樹点検 ・街路樹等のMAP化と経済価値の見える化 Fig: New York City Street Tree Map
②子育て環境の充実 新たに若い世代を招くためには、子育て環境の充実が不可欠。	自然の中で子育てを楽しくなる、質の高い芝地へのリノベーション	ロボットによる公共緑地の管理自動化 快適性・利用率モニタリング 庭芝ロボット技術の発展 ・緑地管理効率化+美しい芝生へ転換 ・温湿度センサーによるグリーンインフラの快適性モニタリング 写真: Mimo (HONDA)
③都市間競争力強化 加速する人口減少の中、TX沿線市の中でも、独自の魅力創出が必要。	自然共生の地域ブランド化 エシカルなライフスタイルの提案	デジタルエコマネーによる環境配慮経済・エシカル消費の促進 スマホアプリ「Morinfo」ポイント事業 ・環境配慮行動へのデジタルエコマネー発行 ・エシカル消費（地域活性化、環境、社会に配慮したサービス）に使用可能な制度設計 守谷市公式アプリ Morinfo



目標	現在	目標（2025年）
●公園や緑地の経済価値	約3.4億円	3.6億円（+5%）
●自然環境への満足度	満足している80.8%	満足 85%（+1%/年）
●シニアクラブ会員数	会員956人	会員1,150人
●ファミリーサポートセンター会員数	1,558人	1,870人（+20%）
●転入者の増加	+781人/年	+800人/年（現状維持）
●地価の上昇（前年度比）	住宅地+1.1%、商業地+1.8%	住宅地+1.1%、商業地+1.8%
●Morinfoの普及	全市民アカウント取得率 約3.9%	8%（+1%/年）

